

# Compositional analysis of coronary artery calcification in dialysis patients in vivo by dual-energy computed tomography angiography

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-12-06 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 西沢, 蓉子 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.20780/00032391">https://doi.org/10.20780/00032391</a>

様式 (6)

## 学 位 審 査

学 位 番 号	乙 第 3018 号	氏 名	西 沢 蓉 子
審 査 委 員 会	主 査 教 授	山 中 寿	
論文審査の要旨 (400 字以内)			
<p>本論文は、透析患者の予後に大きな影響を及ぼす冠動脈石灰化に焦点を当て、DECT を用いて石灰化の成分を分析したところ、従来考えられていたようなヒドロキシアパタイトではなく、シュウ酸カルシウムが主成分である可能性が高いことを示した論文である。本論文の結果が正しければ、透析患者に広く行われているリンの制限ではなく、シュウ酸の摂取制限により冠動脈石灰化を抑制することが透析患者の長期予後を改善できる可能性を示すものであり、新たな治療法の可能性を示すものと考え。その意味で、オリジナリティだけでなく、将来展望のある研究として評価したい。</p> <p>試問においては、本研究の方法論、解析方法、透析患者のマネジメント全般、副論文である Alport syndrome についても質問し、適切な回答を得た。腎疾患全般について十分な知識と見識を有すると判断する。</p>			
<p>本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に医学部学務課へご提出下さい。(本学学会雑誌に公表) [学校教育法学位規則第 8 条]</p>			